

がんクラスター

(代表：泌尿器科学 大家 基嗣)

わが国において最大の死因はがんによる死亡であり、高齢化社会の進行とともに、保健上の重大課題となっている。本クラスターは、「信濃町クラスター」の一つであり、基礎的ながん研究を行う研究室とがん治療を臨床で行っている教室から構成されている。がんを学ぶことは、生命医学の基礎的理解から、実際の患者をいかに治療するかを具体的に討議することまでを含む。がんの多様性、つまり発生する臓器によって特徴が異なること、また、治療方法についても、がんの種類によって、また、がんの病期によって異なることを理解しなければならない。その一歩は興味を持つがんを選択し、それを軸として展開していくことである。基礎の研究室だけでなく、臨床の教室でも様々な基礎的研究を展開しているので、具体的な研究内容については、各グループのホームページを参照していただきたい。興味のある研究室については、各々のラボツアーに参加して、さらに具体的な研究内容の説明、設備等の見学を行うことができる。臨床の教室では、具体的な診療の説明や、臨床カンファレンスに参加が可能であり、診断から治療への流れを知るとともに、医療における考え方を体感できる。がんに関連した講義・セミナーが行われるので、各人の興味とニーズに合わせて受講することを勧める。さらに、特に希望する場合には、自らの研究の将来的なアウトプットとして、医療への応用を議論することも可能である。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
信濃町	病理学	坂元 亨宇	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/patho/index-jp.html
信濃町	病理学	岡田 保典	
信濃町	先端医科学研究所	河上 裕	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/admedres/index-jp.html
信濃町	先端医科学研究所	佐谷 秀行	http://genereg.jp/index.html
信濃町	内科学	日比 紀文	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/index-jp.html
信濃町	内科学	石坂 彰敏	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/pulmonary/index.html
信濃町	外科学	森川 康英	http://www.studioasia.jp/dev/keiohos/web/
信濃町	外科学	北川 雄光	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/surgery/ggs/study_group/index.html
信濃町	麻酔学	武田 純三	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/aneskeio/index-jp.html
信濃町	整形外科	戸山 芳昭	http://www.keio-ortho.jp/
信濃町	小児科学	高橋 孝雄	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/pedia/index-jp.html
信濃町	産婦人科学	青木 大輔	
信濃町	泌尿器科学	大家 基嗣	http://keio-urology.jp
信濃町	耳鼻咽喉科学	小川 郁	http://www.keio-ent.jp
信濃町	精神・神経科学	鹿島 晴雄	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/psychiat/
信濃町	放射線科学	栗林 幸夫	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/rad/
信濃町	リハビリテーション医学	里宇 明元	http://www.keio-reha.com/index.html
信濃町	薬剤部	谷川原 祐介	
芝共立	化学療法学	杉本 芳一	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory15.html

A) ラボツアー (選択必修)

上記リストのうち、信濃町キャンパスの研究室のうち1つ以上を各自が選択して研究室見学を行う。再生クラスターに配属された学生の中からハウプトを一名選び、見学する研究室を学生間で全体調整した後、代表の学生が各研究室責任者と事前に連絡をとって日時等を決定する（混乱を避けるため、日程調整はグループ単位で行うこと）。

B) 講義・セミナー

信濃町キャンパスで開催される下記の「選択必修講義・セミナー」の中から最低1コマ以上受講し、A4で一枚程度のレポートを作成すること。他に、希望があれば、下記の「自由選択講義・セミナー」を聴講することができる。なお、「選択必修講義・セミナー」は主に研究に関する内容、「自由選択講義・セミナー」は、主に研究の基盤となる教科書的な内容を扱う。

1. がんクラスター選択必修講義・セミナー

（がんクラスターに参加している学生は下記のうちから最低1コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院GPのHPを各自参照のこと。）

1) 「特別セミナー」

信濃町キャンパスで開催されるがん関係セミナーの中から相応しいものを指定する。大学院 GP の HP に随時掲載するので、各自参照のこと。

月・日・曜日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
未定					
未定					

2) 「大学院医学特別講義」(信濃町キャンパス)

月・日・曜日	時限	講実	場所	タイトル	担当者	備考
5月12日(水)	18:00-19:30	講義	孝養舎 405	婦人科悪性腫瘍と糖鎖抗原	青木大輔	産婦人科学
6月23日(水)	18:00-19:30	講義	孝養舎 405	Hematopoietic stem cell transplantation -Current status and Future directions -	岡本真一郎	内科学
7月7日(水)	18:00-19:30	講義	孝養舎 405	腎細胞癌：基礎と臨床を繋ぐ、細胞生物学的特徴	大家基嗣	泌尿器科学
7月20日(火)	14:45-16:15	講義	予防講堂	前立腺癌に対する放射線治療	茂松直之	放射線科学
7月28日(水)	18:00-19:30	講義	孝養舎 405	肺癌診断と外科治療の最前線	野守裕明	外科学

3) がんプロ講義

基礎腫瘍学

日 程		教室	授業担当者	講義題目
日時	時限			
4月20日(火)	1時限	孝養舎 402	村上 康二	がんの画像診断
4月20日(火)	2時限	孝養舎 402	河上 裕	がんの Translational Research
4月21日(水)	1時限	孝養舎 402	須田 年生	がん幹細胞
4月22日(木)	1時限	演習室4	吉村 昭彦	ウィルスと発がん
4月22日(木)	2時限	演習室4	武林 亨	がんの疫学と予防
4月22日(木)	5時限	演習室4	工藤 純	ゲノム解析法
4月26日(月)	1時限	孝養舎 301	佐谷 秀行	がんの発生基礎理論
4月26日(月)	2時限	孝養舎 301	佐谷 秀行	がんの悪性化基礎理論
4月27日(火)	1時限	孝養舎 301	坂元 亨宇	がんの分子病理
4月27日(火)	2時限	孝養舎 301	谷川原 祐介	抗がん剤の薬物代謝
4月27日(火)	3時限	孝養舎 301	下田 耕治	動物実験
4月27日(火)	4時限	孝養舎 405	河上 裕	Interaction between cancer cells and immune system☆
4月27日(火)	5時限	孝養舎 301	涌井 昌俊	プロテオーム・メタボローム解析法
4月30日(金)	5時限	孝養舎 301	大家 基嗣	がん細胞シグナル伝達異常と分子標的治療

☆医学特別講義と共通(18:00～19:30)

臨床腫瘍学

日 程		教室	授業担当者	講義題目
日時	時限			
4月20日(火)	3時限	孝養舎 402	茂松 直之	放射線腫瘍学
4月21日(水)	2時限	孝養舎 402	森 毅彦	臓器保護
4月21日(水)	3時限	孝養舎 402	辻 哲也	がんのリハビリテーション
4月21日(水)	4時限	孝養舎 402	白波瀬 丈一郎	コミュニケーション
4月21日(水)	5時限	孝養舎 402	高石 官均	非血液毒性と支持療法
4月22日(木)	3時限	演習室4	岡本 真一郎	がん薬物療法の原則／抗がん剤の臨床薬理
4月22日(木)	4時限	演習室4	岡本 真一郎	血液毒性と支持療法
4月26日(月)	4時限	孝養舎 301	副島 研造	Oncologic Emergency

※ 1 時限：9:00～10:30 2 時限：10:45～12:15 3 時限：13:00～14:30
 4 時限：14:45～16:15 5 時限：16:30～18:00

2. がんクラスター自由選択講義・セミナー

(がんクラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

月・日・曜日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
未定					
未定					

C) ラボ・ミーティングへの参加 (希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるので、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること。